

伊丹

金十郎源直勝かた八隅守康直かつら五男

あり

家譜の按よりく家傳小且勝と勝存或ハ勝重と
ありひまうと寛永譜より四男のまうか

武藏小倉

寛永
譜

台徳院殿につくまううせ後常陸國河

内郡らよりちうとう三ひ百石とたゆひ

其後清納ア番とつと寛永十年八月

廿二日と二十二小うて

按より小寛永譜
五十二と記す

死に法名慧門の子に家譜其子加玄清勝

經の武藏に生る寛永の女勘十郎と

いふ

大猷院殿小つ久奉つ大番と法とい

後慶安元年番と辞して小普禰小入

家譜の今の大番伊丹
加玄清勝方々祖より

伊丹

十玄清源宗俊の集人正宗の重の子那

つと祖父の新の瑞の宗次といふ寛永の譜

北條氏直の子に家譜宗重の北條安房守

氏邦の小津の久慶の長五年死に法名誠

常喜といふ家譜一按じらるる小家傳のいふ天正十八年
死に法名宗俊とありしりましる詳しるる

今の家譜の宗俊の慶長十七年

東照宮と并し大坂冬夏の清陣小供